

《 競技上の確認 》

- 1 本大会は、2026年度（公財）日本バレーボール協会6人制ルールへの取り扱い及び2026年度（公財）日本中学校体育連盟バレーボール競技部における6人制ルールへの取り扱いによる。ただしネットの高さは男子2.30M、女子2.15Mとする。本大会は、給水のためのタイムアウトを採用する。（30対30、40対40でもタイムアウトをとる。）
- 2 競技日程及び方法は、プログラム掲載のとおりトーナメント戦とする。試合は全て3セットマッチとする。
- 3 前試合終了後に10分間の合同練習（ボールの使用許可）、プロコールの後に試合開始とする。ただし、連続試合の場合は、10分間の休憩の後、10分間の合同練習、プロコールの後に試合開始とする。
- 4 大会試合球は、次の通りとする。 男子:ミカサ(V400W)、女子:モルテン(V4M5000)
- 5 チーム構成は、監督・コーチ・マネージャー（生徒に限る）各1名、選手12名以内の計15名以内とする。尚、監督・コーチ・マネージャーの各章は、左胸につけること。モップを認める。
- 6 試合間の合同練習時間を除き、ベンチ及びアリーナには、有効にエントリーされた監督・コーチ・マネージャー・選手以外は入ることはできない。
- 7 試合コートでのボール使用は、合同練習・公式練習・セット間（フリーゾーンのみ）以外は認めない。
- 8 ベンチには、競技に必要なスライズボトル又はストロー付きボトル・救急用具・タオル・団扇・ボール以外の物品の持ち込みを禁止する。（校旗・部旗・硬質素材のクーラーボックスや水筒等も禁止する。）
- 9 エントリー変更・訂正は、監督会議終了時に競技委員長まで提出すること。原則これ以外の変更は認めない。
- 10 くるぶしの保護されていないアングルソックスの着用は禁止する。また、短パン等の下からスパッツ、下着等が出ないように着用することを義務づける。スマールタオルを全選手が準備し、着用すること。
- 11 ローテーションチェック後は、速やかにゲームがスタートできるようにすること。
- 12 セット間は、両チームとも速やかに移動する。また、3セット目13点になったら、コートチェンジし、給水のためのタイムアウト後、ローテーションチェックを行い、ゲームを再開する。
- 13 リベロプレーヤーのユニフォームやゼッケンは、リベロプレーヤー以外のユニフォームと判別が付きやすい物を着用すること。（審判・競技の指示に従うこと）
- 14 監督の立ち上がったの指示を認める。（競技、役員への妨げにならないこと）
- 15 応援については、審判・競技・会場の関係で、太鼓や笛などの鳴り物の使用は禁止する。